

第29代第5施設団長着任



大久保 克久 陸将補



発行所
ときわ会九州支部
小郡市小郡2277

統率方針

「所命完遂」

団長要望事項

「施設の骨幹部隊としての責務の完遂」
「連携」

令和6年8月2日付で、第29代第5施設団長を拝命した大久保将補です。前団長の満井将補をはじめ、諸先輩方が築かれた歴史と伝統のある第5施設団の団長として部隊を指揮・統率していくことに身の引き締まる思いである。中国の台湾情勢を巡る最近の動向や北朝鮮による度重なるミサイル発射など、これまでにはない厳しい安全保障環境のなか第5施設団は、西部方面隊における施設の骨幹部隊として施設力を発揮すること求められておりその期待度は過去にも増して高まっていると認識している。このため、統率方針を「所命完遂」とし団長としての重責を担いながら緊張感をもって統率していきたい。また、要望事項を2点要望したい。1点目、「施設の骨幹部隊としての責務の完遂」である。繰り返すことになるが、これまでにはない厳しい安全保障環境であるとともに我々が所在する地域は、第5施設団が骨幹部として対応した平成30年の九州北部豪雨災害等にもみられるように潜在的に災害が多発する地域であると認識している。このような環境の中しっかりと負託にこたえるために第5施設団の隊員ひとりひとりに果たすべき役割が与えられており、我々のおかれては環境をしっかりと認識し、目的意識と施設の骨幹部隊としての誇りをもちそれぞれの役割を果たしてもらいたい。2点目、「連携」である。この「連携」には、地域との連携、家族等との連携、組織上の上下左右の連携、仲間との連携等、様々な意味がこめられていると認識してもらいたい。平素から上級部隊である総監部や関係部隊、関係自治体・機関や地域住民の方々と連携を密にし、円滑な関係を構築するとともに信頼を獲得し、事態が発生した際にはこの関係性をもって任務遂行の実効性を高めていく必要がある。また、第5施設団の隊員ひとりひとりに職責に応じた果たすべき役割があり、ひとりひとりが貴重な存在である。そのような厳しい環境下で皆が真摯に訓練や職務等を遂行するうえで、階級等関係なく大なり小なりの悩みをもっていると思っっている。夫や妻、親や兄弟、友人等常日頃から大切にするとともに我々は仲間であるという意識のもと先輩・後輩・同僚でお互いを支えあってもらいたい。以上、統率方針、要望事項等について述べたが我々の取り巻く環境は厳しく、様々な課題はあると思うが強靱な第5施設団の創造のために全力をもって指揮・統率していきたい。

《着任の辞》



ホームページ



X (旧Twitter)



Instagram

満井団長離任



満井将補は、令和6年8月2日付で、第28代第5施設団長を離任し、陸上幕僚監部監察官(市ヶ谷)に着任しました。

「服務の宣誓」

はいど版



自衛隊という組織に足を踏み入れた者は誰しも声に出して宣べた経験があるであろう。「服務の宣誓」、私はCGS2次受験以降、今日に至るまで日々の国旗掲揚・降下時にその文章を心の中で唱えるようになっております。なぜそうするようになったのかということですが、ある方から「服務の宣誓」中の、一部のフレーズに実は目に見えない行間の言葉が詰まっているという示唆をいただき、そのことに感銘を受けたからです。それまでは、恥ずかしながらOCS等での服務関連のテストに出るから暗記するかといった程度にしか捉えていませんでした。皆さんもご存じかと思いますが、自衛隊以外の警察や消防にも同様の宣誓があります。自衛隊の「服務の宣誓」には独特のフレーズ「事に臨んでは危険を顧みず、」があります。この部分がまさに秘められた言葉が詰まっている文章なのです。その全文は、
【顔も名前も生まれも育ちも全く分からない見ず知らずの他人(日本国民)の事に臨んでは、例え我が身がどうなるうとも危険を顧みず、またその後の代償も一切要求することなく、ご先祖・両親から授かったこの世でたった一つの身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託に応えることを誓います。】というものです。自衛隊発足以来、実際に国内有事が生じし日本国民の負託に応えた経験はないものの、日頃の訓練・演習等における職務遂行時の殉職隊員は多数おられます。このことから我々が常日頃から為すべきことは、この行間の言葉を含めた「服務の宣誓」を銘肝し、透徹した使命感を涵養し続けることが一丁目一番地ではないでしょうか。

令和6年8月2日
第5施設団長兼小郡駐屯地司令
陸将補 大久保 克久

第2施設群長
1等陸佐 上野 富一郎

駐屯地災害対処訓練

駐屯地は、5月20日、災害対処訓練を実施し、災害対処能力の維持・向上を図りました。

本訓練では、呼集による緊急登庁、補給品や燃料の積載作業、給水準備、油圧ショベル等重機の積載など実施しました。

また、隊員のお子様を預かる緊急登庁支援も実施し、家族支援体制を強化しました。

訓練を通じて、隊員たちは災害時の迅速な対応力と連携力を高め、地域の安全を守るための準備を万全にしました。



給水準備



燃料の積載



補給品(糧食)の積載



油圧ショベルの積載



緊急登庁支援の準備状況

令和6年度モニター紹介



装備品見学←



体験喫食←

令和6年度にご協力いただく防衛モニター及び駐屯地モニターの方々に紹介します。

- 令和5年度防衛モニター 高着 彩加 様
- 令和6年度防衛モニター 牧野 哲也 様
- 駐屯地モニター 野見山 徹彦 様
- 堤 勝彦 様
- 船橋 祐一 様
- 徳原 和樹 様
- 平田 祐士 様
- 田代 直輝 様

小郡駐屯地創設70周年及び第5施設団創設62周年記念行事

駐屯地は令和6年3月17日、「地域とともに守る未来」70年の想いを込めて「」をテーマに、小郡駐屯地創設70周年及び第5施設団創設62周年記念行事を開催しました。

70周年の節目で開催された本行事は、駐屯地を一般開放し、観閲式では駐屯地音楽隊女性隊員が国歌を独唱して、駐屯地司令の式辞及び来賓祝辞に続き、70周年を記念して作られた小郡駐屯地歌を披露した後、自衛隊の威容と迫力ある観閲行進で締めくくりました。その後、戦闘訓練展示を実施し、会場は2千名を超す来場者の歓声に包まれました。

その他のアトラクションでは、装備品展示、小郡駐屯地音楽隊による音楽演奏等を行いました。

地域の皆様のお陰をもちまして、小郡駐屯地は創設70周年を迎えられました。感謝と国防の使命感を胸に刻み、これからも日々任務に邁進してまいります。



駐屯地司令式辞



巡閲



訓練展示



女性隊員による国歌独唱

小郡駐屯地担当

生活サポート777

日本生命保険相互会社 久留米支社

常駐員並びに担当営業職員をよろしくお願ひ申し上げます。(内線384)

元永 綾子 柳 優季

984-24-28

“As safe as the Rock”

～ジブラルタ・ロックのように安心～

久留米支社 千830-0032

福岡県久留米市東町36-8

ステーションプラザ久留米ビル4階

TEL 0942-38-5682

小郡駐屯地 担当

浦塚 美加 福田 由美 矢野 琴美

確かな安心を、いつまでも

明治安田生命 久留米支社筑後小郡営業所

小郡市祇園2-9-17 2F

TEL: 0942-72-4672

求む!売却不動産!

(家・土地・マンション)

- ◆不動産で収入を得たい!
- ◆未利用の土地・建物をどうにかしたい!

0942-23-9958 まで!

(株)後藤不動産

小郡市小坂井508-3(七夕通り) 定休日:毎週水曜日

※防衛共済組合小郡支部指定店

現職家族、OB家族(割引制度あります)

小郡河北苑斎場

- 大原斎場 ●天国社斎場(姪の浜、油山、春日、田村)
- 小郡河北苑 ●太宰府聖光院
- 福津市斎場 ●福岡南区・城南区・今宿斎場

福岡葬祭連組合員 (小郡葬祭使用斎場) (株)小郡葬祭

年中無休 24時間営業

小郡市小郡自衛隊正門前 TEL.73-0344 FAX.73-0102

ホームページ ogorisousai.com

ハイネスホテル久留米

久留米市天神1-6 ☎32-7211

第2 施設群

群は、4月13日から22日までの間、令和6年度第1次教育訓練基盤構築(日出生台)に参加しました。各中隊は、群長要望事項である「技術の錬磨」「工事管理の徹底」「非戦闘損耗の絶無」を徹底し、出水期前の各種排水整備を重視して作業任務を完遂しました。



暗渠設置のため掘開作業



入隊式集合写真

群は、令和6年度自衛官候補生課程教育を担当しました。陸士としての資質を養うとともに、各種共通の基礎的な知識及び技能を修得させました。



第401施設中隊検閲風景



集結地占領の命令下達

群は、5月14日から22日までの間、群統制訓練を実施しました。「基礎となる部隊訓練」を演練し、効果的な練度向上を図りました。また、6月2日から9日まで第401施設中隊は川内演習場において、中隊検閲を受閲しました。
統裁官要望事項である「あらゆる状況を克服し、生き残り、任務を継続せよ」を具現実行するため、安在中隊長を核とし、中隊一丸となり、任務を完遂しました。

第9 施設群



伐木の積み込み・運搬



土嚢を成形する隊員

群は、4月13日から23日までの間、第1次教育訓練基盤構築(日出生台)において、昨年度より、演習場の機能向上を目的として着手した「切塞道拡幅整備」2期目として着作業と農業用水路整備を実施しました。施設機械作業と手作業部隊が連携して全路線の伐木作業を完了し、1件の事故もなく任務を完遂しました。

第103 施設器材隊

隊は、5月13日から31日までの間、女性陸曹候補生履修前(前期)教育を担当・実施し、約3週間にわたる教育期間の中で、陸曹候補生課程入校に必要な知識を付与し、体力を向上させるとともに、教育に参加した隊員の団結力を養うことが出来ました。
また、5月18日にみい青年会議所等に対する生活体験支援を実施し、自衛隊に対する更なる理解・信頼を獲得するとともに地域と連携を深めることが出来ました。
隊は今後も様々な任務に一丸となって対応してまいります。



基礎を築く
(女性履修前：戦闘訓練)



地域との架け橋
(生活体験支援：パネル橋MGB架設訓練)

お食事処 ひろ

*日替ランチ ¥600 (税込)
デミコーヒー付き

*ほろ酔いセット ¥1,500 (税込)
瓶ビール1本、
焼酎1杯、
おつまみ1皿

住所: 小郡市小郡768-5 (大原中学校グランド東) 電話: 0942-72-8687

麺屋 GAGA 我が

福岡県小郡市横隈1586-6 TEL 0942-75-1103
menya-gaga.com

※防衛省共済組合小郡支部指定店

小郡 霊園

小郡市井上533番地(青寿苑様斜め横)
☎0120-150-511
合祀墓 55,000円～ または 0942-73-3161
その他いろいろなタイプがございます ご相談ください



ヘリの誘導



ヘリ隊とのブリーフィング

第303水際障害中隊

中隊は、5月28日に熊本県の黒石原演習場において第8飛行隊とヘリによる水際地雷敷設の協同訓練を実施しました。

訓練前に第8飛行隊とのブリーフィングや意見交換を行い、綿密な認識統一及び要領の確立により万全の態勢で訓練を開始しました。訓練では投下機の取り付けやヘリの誘導等を担当し、成果のある訓練となりました。

今後も協同訓練等を通じて水際地雷構成能力の向上に努めて参ります。

第5施設団本部付隊

隊は、6月17日から21日までの間、霧島演習場において、第103施設器材隊及び第305ダンプ車両中隊との協同による第一次付隊練成訓練を実施しました。

本訓練で、他部隊との協同を通じ、通信班・偵察班及び調査設計班の能力を団隷下部隊に共有することにより、相互の技術向上を図るとともに、光学・レーザードローンを活用した高低測量等を検証し、計数的な成果を収める等、今後の第5施設団の任務遂行に資する重要な成果を得ました。



有線構成 (通信班)



レーザードローン (偵察班)



集結地占領 (索敵・安全化)



防護施設の構築

第305ダンプ車両中隊

中隊は、6月17日から22日までの間、霧島演習場にて第3次中隊練成訓練を実施しました。中隊本部は自衛警戒戦闘を主として練成し、自隊のレジリエンス(部隊防護)確保に係る練度向上を図りました。また、CDO部隊に対するレジリエンス(部隊防護)確保に係る支援として中隊に新たに装備された油圧ショベルを使用した応用資材による陣地構築を実施して任務完遂能力の向上を図りました。引き続き、あらゆる任務を遂行できるような能力向上を図ってまいります。

第103施設直接支援大隊

大隊は5月15日から17日までの間、第1回大隊野営を実施しました。今回の訓練は、十文字原演習場において中隊等に基盤を付与し、訓練検閲受閲に向け、各中隊毎練度の向上を図りました。特に、支援施設の開設・回収訓練等を演練し、第5施設団を直接支援する野整備部隊の能力を向上させるとともに、隊員の基礎動作についても練度を向上させました。



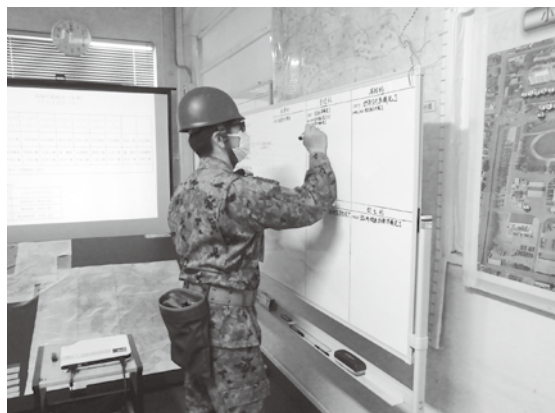
偽装をする隊員 (2中隊)



車両回収 (整備隊)



緊急登庁支援 (受付)



指揮所開設運営 (情報収集)

駐屯地業務隊

業務隊は、5月20日から24日の間、06JXR訓練実施期間中を通じて業務隊指揮所を開設・運営し、情報収集及びレスポンス対応を実施しました。また、20日に小郡駐屯地災害対処訓練に参加し、災害派遣部隊に対する各種補給用品の交付、緊急登庁支援及び健康診断を行うとともに、停電時における発電機による燃料給油要領等を演練し更に、22日に業務隊計画訓練を実施して、非常用糧食払出要領の向上を図りました。

地域とともに

小郡駐屯地二十歳を祝う会

令和6年1月12日(金)



おごり工兵ミュージアム除幕式

令和6年1月12日(金)



モニター会議

令和6年3月25日(月)



モニター委嘱式

令和6年4月6日(土)



小郡スプリングフェスタ

令和6年4月21日(日)



体験入隊

令和6年5月18日(土)



施設科幹部OB会(ときわぎ会)九州支部

会員募集

西方管内の3尉以上の退官(予定)者はどなたでも入会できます!

管内の会員相互の親睦と施設科部隊の支援をしています

入会の連絡はこちら

連絡(取次)先: 小郡駐屯地第5施設団本部広報班
TEL: 0942-72-3161(内線:218)

92式浮橋訓練見学会

令和6年6月8日(土)



福岡県郷友連盟部隊研修

令和6年6月24日(月)



新着任部隊長紹介

第321基地通信中隊 小郡派遣隊長

第103施設直接支援大隊長



2等陸尉 藤井 邦昌



2等陸佐 上田 雅志

BEST SHOT 2023 in CAMP OGORI



「負けられない戦いが、そこにはある」

小郡駐屯地は、隊員の士気の高揚及び撮影技術の向上を図るため、各部隊の活動状況等の提出写真から毎月月間ベストショットを選出しています。

本作品は、月間ベストショット12作品の中から厳正な審査で選ばれた年間ベストショット作品です。

【撮影状況】
駐屯地レクリエーション(綱引き)

課外でも勝負事は負けられない。隊員の必死さが伝わる瞬間を捉えた一コマです。

撮影者
第9施設群本部管理中隊
2等陸曹 有永 和史

小郡・筑前・大刀洗のケーブルテレビ

ケービレッジ

見たい番組が見つかる! ケーブルテレビ

新サービスも登場! インターネット

(0942) 41-2134

小郡市福重196-1(株式会社メック)

ケービレッジ

www.cv-net.jp

いけばなで空間に美を

草月 sogetsu

いけばな 草月流

三井郡大刀洗町下高橋3636-2 TEL 0942-77-4651

師範 堀内 草圭

防衛省 共済組合 がん保険

防衛省 職員 団体傷害保険

防衛省 共済組合 火災保険

防衛省 退職後 団体傷害保険

☆その他各種の損害保険

【取扱代理店】

弘済企業株式会社

詳しくは、下記の駐屯地保険常駐員にご相談ください。

小郡駐屯地: 木許・台原
070-8793-7950(内線8-952-571)

サンホテル鳥栖

朝食無料サービス(和・洋バイキング AM6:30~9:30)

自衛隊様特別価格 4,500円(シングルルーム)

鳥栖駅より徒歩1分です。鳥栖インターチェンジより車で10分

ご予約・お問合せはこちら

TEL 0942-87-3939 FAX 0942-87-3535

http://www.sunhotel-tosu.com 〒841-0034 佐賀県鳥栖市京町781-1